

■（２３）身近な地域面も学校に通いたい！

富士山のように裾野を引く「表岩手」を望みながら、ＪＲ盛岡駅から岩手県庁方向に歩いた。幹線道路脇には多くの雪。日が暮れると寒風が身にしみた。向かったのは県内の取材拠点・盛岡総局。そこで、旧知の総局長とともに、現役とＯＢの先生２人をお迎えした。

岩手に限らず、地元の新聞が圧倒的なシェアを持つ地方で、全国紙は教育支援として何ができるか。お二人は経験を交えてさまざまなアイデアを出してくれた。これらを参考に「地域面（県版とも呼ぶ）」で新たな展開ができないかを探っていくことになる。

朝日新聞の場合、身近なニュースを掲載するため、沖縄を除く全国４６都道府県ごとに地域面を制作している。都道府県内をさらに細かく分類しているケースがほとんどで、都内の題字は配られる地域によって「東京川の手」「東京」「むさしの」「多摩」と分かれている。生活の広域化に合わせて最近では、都道府県をまたぐ「ブロック面」も増やしている。

春は地域面を含め紙面を一新する季節。津々浦々に記者がいる特徴を生かしてはどうかというお二人の助言も参考に猛勉強中です。さらなる「指導」もお待ちしています（山）